

令和4年度第1回横浜市学校規模適正化等検討委員会 会議録

日 時	令和4年6月22日(水) 10時00分～11時30分
開 催 場 所	横浜花咲ビル 2階 205 研修室
出 席 者 (10名)	小松委員長、野木副委員長、倉斗委員、平井委員、細田委員、秋好委員、大塩委員、室伏委員、北井臨時委員(部会長)、中山臨時委員(副部会長)
欠 席 者 (2名)	片岡委員、竹原委員
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 事	1 部会からの報告3件
決 定 事 項	1 「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の意見書のとおり横浜市学校規模適正化等検討委員会として教育委員会へ答申することを決定した。(答申書の内容承認)
議 事	<p>1 部会からの報告</p> <p>「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会における検討状況について</p> <p>(部会長)</p> <p>阿久和小学校は、昭和57年に開校しました。当時の阿久和小学校は700人弱の児童が在席していた時期もありました。令和3年4月より5回に渡って学校規模適正化について検討し、令和6年4月に阿久和小学校といずみ野小学校を統合するという結論に至りました。私たちも、新しい小学校が地域に誇れる素晴らしい学校となるように協力をしてまいりたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>(副部会長)</p> <p>印象としては、大変早くまとまったと思います。それは一重に、阿久和の方々が非常に好意的だったからだと思います。一番苦勞すると思ったのは学校の名前です。子どもたちや保護者にアンケートを取りましたが、その結果、「いずみ野小学校」という方が多く、揉めるのではないかと考えていた部会で、阿久和の方が、開口一番に、「いずみ野にある学校だし、我々は異論ないよ」と言ってくださって、いずみ野の方からしたら、1年間5回の部会だったのですが、阿久和の方からしてみれば、統合はもう10年位の課題だったようです。学校も今かなり統合に向けて動いています。答申書の中にいくつか要望も出ておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>(委員)</p> <p>阿久和といずみ野の統合に関しては非常にスムーズにしている感じがします。10数年前に栄区でも学校統合がいくつもありました。そのときに問題になったのが、先ほど話に出た学校名をどうするかで、栄区では「両方の学校の名前を消して新しい学校の名前にしよう」ということにして、結構揉めました。それが今回は非常にスムーズに行われているということで、良かったと思います。それともう1点、阿久和小学校が閉校になった後のことが資料には書かれていません。矢沢小学校と犬山小学校が一緒になって上郷小学校になったとき、その地域には全所帯数で7,000所帯以上あり、地域防災拠点が高方の小学校にありました。矢沢小学校のほうは解体し、犬山小学校はリフォームするという話は良かったのですが、矢沢小学校の防災拠点である体</p>

育館は残してほしいという話を市には答申していたのですがいつの間にかなくなってしまいました。阿久和のほうの地域防災拠点等に関して苦情等はなかったのでしょうか。

(部会長)

阿久和南部には阿久和小学校と原小学校と二つ小学校が存在しており、自治会に加入している世帯数ですと3,800位あります。そのうち、阿久和小学校に関係するところが1,200世帯位です。防災拠点については今、両方にございまして、この検討部会の中では特に議題に上りませんでした。施設の問題もありますが、何らかの形で現在の阿久和小学校の校区に防災拠点を残さなければいけないと思いますので継続して進めていきたいと考えています。

(副部会長)

確かにいずみ野地区の防災拠点に阿久和の方を迎えるとなると、そんなに長い距離を歩くわけにはいきませんので、阿久和の地区の方はそちらで検討する必要があるのではないかと思います。行政区も違いますので、もう少し上の方たちの話になるのではないかと思います。

(事務局)

こちらにつきましては要望の最後に、「地域の声に配慮した検討をしてほしい」という形でまとめさせていただきました。瀬谷区と泉区との区境になっているところもあります。今後、区役所や防災拠点を管轄している部署、そういったところと、地域の声を聞きながら、検討していくべき課題だと事務局では認識しております。

(委員長)

学校というのは基本的には子どもたちのための教育の施設ですが、公共の施設として、地域の皆さんは防災であるとか様々な機能に期待をされるし、その必要もあると思います。今後そういったものも含めて、住民の皆さんや、区役所等とも協力しながら御議論いただければと思います。子どもたちも含めた住民の皆様の生活の安全・安心のために、是非よろしくお願ひします。それでは、本検討委員会における審議の結果としては、部会で大変熱心に御議論いただいてまとめていただいた意見書をもって、本検討委員会の結論とし、「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等に関する意見書のとおり教育委員会へ答申するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、答申書及び意見書につきましては、北井部会長、中山副部会長から御提出いただきたいと思ひます。部会でも、皆さんから様々な御意見が出る中で、地域の子供たちの教育の環境を良くするために、部会長をはじめ部会委員の皆さん方に大変熱心に御議論いただきましたことに対して、心から御礼を申し上げたいと思ひます。ありがとうございました。

1 部会からの報告

「斎藤分小学校・二谷小学校」建替えに伴う学校規模適正化等検討部会における検討状況について

(委員)

資料の「2 関係校の推計」の学級数の算定は、学級定員を何名で計算しているのでしょうか。

(事務局)

令和4年度に3年生、5年度に4年生、6年度に5年生、7年度に6年生と、令和7年度までに段階的に35人学級になるよう計算しています。

(委員)

自治体にもよりますので、資料に「国に準ずる」といったことが書いてあると分かりやすいかと思います。

(事務局)

参考にさせていただきます。

(委員)

部会ニュースの中で、B地点から新しい学校に通うのに1.20キロで18分とか書かれていますが、スクールバスを出すのか、徒歩なのか、どちらなのでしょう。

(事務局)

横浜市の通学距離として、小学校の基準が片道おおむね2キロメートル以内と定めておりますので、基本的にスクールバス等の支援ではなく、徒歩による通学を念頭に置いてお示ししております。

(委員)

小学1年生は大変でしょう。

(事務局)

この区域は山坂のアップダウンが激しい地域なので、地域からはそのような声が上がっております。それを踏まえ、我々としては特別調整通学区域を設定させていただき、二谷小学校までの距離が遠い地域につきましては、近隣の南神大寺小学校や神橋小学校にも通学できるように、自由に選択できるような制度を御案内しています。

(委員)

以前栄区であった統合の事例ですが、統合校へ行くのに、山を下りて登って行かなければならないことが問題になったのですが、片道2キロ範囲内だったので、スクールバスは出せないということで統合に支障がありました。今回の学校も山坂があるということなのですが地域の人はそれで納得するのでしょうか。

(事務局)

部会がまだ2回目で方向性が見えておらず、子どもの通学や跡利用に関しても皆様から御意見を頂いております。これまで教育委員会で統合を行った学校の事例を一覧にまとめるなどして、地域の皆様にお示しして御議論いただきたいと考えています。

(委員)

また、学校統合した跡地をどうするのかというのは市の方針で決定するのでしょうか、庄戸中学校と上郷中学校が統合（平成27年度）していますが、庄戸中学校の建物がそのまま10年近く経っているので、検討してほしいと思います。

(事務局)

わかりました。

(委員長)

今の点も含めて、今後また資料を適切に提供しながら、皆さんで議論していただければと思います。

(委員)

統合というのは教育の質を上げるということと、もう一つ重要な観点として、予算の問題を維持し続けるということもあると思います。そういうことを考えると、やはり2キロ以内なら頑張ってもらいたいという話もあり得ると思うのですが、子どもにだけ頑張ってもらうのではなく、例えば部会の中で通学距離が延びることを不安視する声の原因が何なのかを洗い出しすることは必要だと思います。交通や防犯的なことだと思うのですが、最近よく聞くのが暑さで、途中で熱中症になるのではないかと危険性をおっしゃる方がいて、そういった点を、行政でどうにかしろ、という話ではなく、部会の中でどうしたらその2キロの距離を子どもたちが安全に通えるかという意見を出し合うような空気を作っていく工夫が必要になるのではないかと思います。

(委員)

ニュースの2(2)で特別調整通学区域を設定しているので、前回頂いた資料に比べれば大分通学しやすくなったのかと思います。これはもう地域に提示した資料ということよろしいでしょうか。

(事務局)

第2回の資料になりますので地域には提示しています。それ以外にも「地域のつながりを考えた特別調整通学区域が良いのではないか」という御意見も部会で頂いておりますので、第3回では、そういった地域のつながりを考えた特別調整通学区域案も提示したいと考えています。

(委員)

反応はどうだったのでしょうか。

(事務局)

この六角橋の三丁目、四丁目は、六角橋連合町内会で地域が密接につながっているところで、隣の南神大寺小学校や神橋小学校とつながりがあるかという特段つながりがないので、この地域に特別調整通学区域を設定しても、なかなか話がまとまらないのではないかと御意見を頂いているところです。

(委員長)

統合の問題は、周辺の学校にもいろいろな面で影響があるので、その辺の配慮もしていただければと思います。

(委員)

南神大寺小学校も小規模校なので、そちらに動くというのは非常に良いことだと思いますが、かなり小規模化が進んでいるので、今後また南神大寺小学校から統合の話が出てくるのではないかと少し考えます。また、逆に神橋小学校は500～600人位の規模だったと思いますので、教室不足が大丈夫かということも懸念するところです。

(委員長)

親御さんはお子さんの通学を考える時に、そのような情報も含めて判断する方もいらっしゃるでしょうし、複雑な要因があると思いますが、できるだけそれぞれのお子さんにとってベストな環境整備ができればと思います。

(委員)

建替えのときに、どこまで普通学級の数を増やせるのでしょうか。

(事務局)

もし統合が決まれば、両校の生徒の合計数を受け入れる施設を建てる形になります。学校を建てるに当たっては、国から交付金等を受ける必要があります。それは現在の児童数と、その2～3年先に発生する児童数等を含めた上限というものが決まっていますので、それを超えて、例えば周辺からもっと集めてしまおうとかいう形で、もっと大きく建てようとすることはできません。

(委員)

先ほどの防災拠点の話で思ったのですが、資料に書いてあるのはいつも児童の数だけです。防災拠点や跡利用のことを考えていくときに、町全体の人口や戸数というのが必要かと思いましたので、資料に入れてもらうと良いかと思いました。

(事務局)

分かりました。

(委員)

この地域には私立女子校とか私立大学がありますが、そこは防災拠点として利用して良いのでしょうか。

(事務局)

専門外になってしまうので正確なお答えはできませんが、私立の学校との合意が取れない限りは、基本的には横浜市が建てた公的な施設をもって防災拠点とする形になっております。

(委員)

そのあたりで官民連携できると良いと思います。

(事務局)

横浜市の場合、地域防災拠点は市立の小中学校を活用しているのですが、大きな災害が起きたときに人を収容しきれないと困るので、先ほど話に出ました私立の学校など活用できそうなところがある場合は、協定を結ばせていただく形をとっています。

(委員長)

それについては、区役所等を中心として住民の命や安全を確保するために、行っていただきたいと思います。

(委員)

学校規模の話と、統合に伴い通学路の距離が延びる話と、建替えの話と、色々な要素が絡み合っていて部会で合意形成していくことは結構ハードなことだと改めて感じています。一般的には「小規模校＝少人数クラス」とか「大規模校＝大人数クラス」といったイメージで語られがちですが、教員の目が行き届くかどうかは、1クラス当たりの人数が多かったり少なかったりすると大分変わってくると思います。大規模校であるか小規模校であるかによって1クラス当たりの人数が変わってくるわけではないので、そこを取り違えると議論の方向性に結構影響を与えたいと思います。

(委員長)

部会で合理的に検討していただくために、資料の提供や、議論へのアドバイスをしてくださると大変ありがたいと思いますので、情報提供を是非お願いしたいと思います。

1 部会からの報告

「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会における検討状況について

(委員)

説明会報告を見るとたくさん質問が出ていますが、何かトラブルの元になるようなものがありそうな地域なのでしょうか。

(事務局)

感想としては、部会設置に当たってごく一般的な質問だったと思います。特に現時点で特有の問題が生じているようなことはありません。

(委員)

親がトラブルになると子どもたちが影響を受けますので、丁寧に進めていただいて、皆ができるだけ納得するような形で話が進めば良いと思っております。

(委員)

この説明会の時点で部会は設立されているのでしょうか。

(事務局)

部会の設置は、こちらの検討委員会で3月にさせていただいております。メンバーはまだ選ばれていない状態で御了解をいただいております。保護者説明会でも「部会を使って検討してまいります」ということを伝えていきます。

(委員)

過去の事例で、説明会で話があった内容と実際に決まった内容とが違っていったことがあって、部会長だった当時の連合会長が、住民から責められてしまったことがありました。説明会が始まる前に部会を設立しておいて、説明会にもその方たちが出ていればそういうトラブルはなかったと思うので、十分その辺のところを注意してほしいです。

(事務局)

事務局としても丁寧に部会長などと連絡を取りながら部会を進めてまいります。

(委員長)

部会の委員が、個人の意見ではなく、それぞれの組織の意見をまとめていただいて、組織の長としての意見を部会に反映していただくというのは、これ以上ない民主的なシステムだと思いますので、今後も尊重していただきたいと思っております。

(委員)

防災拠点のように教育委員会で約束できないこともあるので、その立場の方がオブザーバーとして来てなにか言ってくれば大分安心すると思っております。部会で話を進めていくための安心材料をきちんと用意しておいてあげるとスムーズにいくと思っております。あと、部会長が決めるのではなく、部会でみんなの意見をまとめるのだよということを伝えてあげると、連合会長さんも安心して部会長を引き受けられると思っております。

(委員長)

説明会でいろいろな意見が出て、事務局が丁寧に対応し、それを記録として残しておくというのが実は一番大事だと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(委員)

南舞岡小学校の親校が日限山小学校で、分かれたところがまた戻る可能性があるという話だと思うので、そこまで揉めることはないのかと思っております。ただ、戸塚区と港南区とで行政区が違います。また、この地域は山一つ隔てているので、もし色々

	<p>な考え方が出るとしたら地理的なことだと思いますので、特別調整通学区域のことも考えた柔軟な対応が必要かと思います。</p> <p>(委員長)</p> <p>行政区の異なる学校の問題というのはあると思います。私も政令指定都市を色々見っていますが、例えば京都と横浜を比べると、横浜のほうがはるかに区ごとの独自の活動が盛んです。京都はそれほど区を意識しません。そういう点で言うと、横浜はこれだけ人口も多いし、18区あって区役所が盛んに独自の活動をしていますので、他の市よりは工夫が必要かと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>区がまたいでいるところは、各区役所の職員も部会に参加してもらいます。区が分かれていることによる我々の仕事上の都合は、通学されている児童・生徒には関係ないことなので、そこに極力影響が出ないように常に念頭に置いていきたいと思ます。</p> <p>(委員)</p> <p>行政というのは、俗に言われている縦割行政と言われていて、横のつながりがあまりできていないと思っています。地域の人から要望が色々出てきますが、それは部会の範疇ではなく様々な部署に分かれます。この部会の中で、そういうことが起こらないようにしてほしいです。</p> <p>(委員長)</p> <p>ほかになれば、予定した本日の議事は全て終了いたしました。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次第」 ・「委員名簿」 ・「座席表」 ・部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・阿久和小学校の学校規模適正化について ・「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等に関する意見書 ・阿久和小学校・いずみ野小学校の統合に伴う通学安全に関する要望書 ・学校規模適正化等について（答申）（案） ・「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会ニュース第1号～第4号 ・「斎藤分小学校・二谷小学校」建替えに伴う学校規模適正化等検討部会における検討状況について（報告） ・「斎藤分小学校・二谷小学校」建替えに伴う学校規模適正化等検討部会ニュース第2号 ・「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会における検討状況について（報告） ・日限山小学校・南舞岡小学校の学校規模適正化に関する説明会報告 <p>【特記事項】</p> <p>なし</p>